

# 独自技術を起点としたビジネスの確度を高めるための活動

会社名 SK8INSOLL株式会社  
 所在地 東京都渋谷区神宮前4-26-28 2F  
 従業員 3名  
 資本金 500万円  
 業種 インソール開発・製造・販売、歩行分析機器開発・販売



## 支援を受けるにあたって掲げた事業上の目標

Before

- 今後事業を安定的に拡大していくに当たり、今のうちからビジネス上のリスクを点検し、それを踏まえながらターゲットを特定したビジネスモデルを構築する必要があった。
- また、その際に必要な知財対応についても考える必要があった。

After

- ビジネス上のリスクを明確にできたことに加え、自社商品の主たるターゲットとするべき対象を明確にすることことができた。
- また、そのターゲットを対象にした事業を強くしていく際に必要な知財対応についての検討も進めることができた。

Future

- 自社にとって重要な要素であるデータ管理等を含めた営業秘密管理の考え方を従業員に浸透させる。
- 特定したターゲットを中心としたビジネスを進め、業績を拡大する。

## 加速的支援を受けた事業や商材



フィギュアスケートに必要な強い足腰を作るノウハウを活かし、「100歳まで表彰台を目指す社会を実現！」というミッションに向かい、自社は世界で唯一フィギュアスケート専用インソールを開発・製造した技術を生かし、高齢者を含む一般人向けに革靴、スニーカーに用いるインソールを開発・製造・販売している。

フィギュアスケートに必要な強い足腰を作るノウハウを生かして、子供から高齢者、一般人からアスリートまで、病院になるべくいかない足づくりに貢献することを目標としている。

[出典]SK8INSOLL株式会社ホームページ  
[www.tokyoinsoll.com](http://www.tokyoinsoll.com)  
[www.ai-walking.com](http://www.ai-walking.com)



## 加速的支援を実施するにあたって整理した課題

取り組んだ課題	課題に取り組んだ背景・理由
ビジネス上のリスク点検	ビジネスモデルの特性上、データ越境等の可能性が考えられるところと、本格的な事業展開を見据えてリスク等を点検しておく必要がある。
ターゲットの特定	事業戦略の方向性を固めるに当たり、自社が主たるターゲットとする層を明らかにする必要がある。
ビジネスモデルの精査	ターゲットを特定した上で、協力会社との連携等を含めたビジネスモデルのプラッシュアップが必要である。
知財対応	自社ビジネスのコアとなる要素を特定した上で、営業秘密管理を含めた知財対応を考える必要がある。



## 加速的支援を通じて受けた支援と支援を通じてできるようになったこと

支援を受けた事項	支援を通じてできるようになったこと	活用専門家
ビジネス上のリスク点検	<ul style="list-style-type: none"> <li>情報管理や営業秘密管理が自社のビジネスにおいて重要な対策であるとの気づきを得た。</li> <li>当該取組について、従業員との間でも意思疎通を図って社内で共有していくこととした。</li> </ul>	弁理士 中小企業診断士
ターゲットの特定	<ul style="list-style-type: none"> <li>自社商品のメインターゲットとなる層を明らかにすることことができた。</li> <li>定めたターゲットに焦点を当てたビジネスプランの策定等に着手することができた。</li> </ul>	弁理士 中小企業診断士
ビジネスモデルの精査	<ul style="list-style-type: none"> <li>ターゲットを特定したことにより、自社の路線が明確になって協力会社の必要性の有無等を含めてビジネスモデルをプラッシュアップすることができた。</li> </ul>	弁理士
知財対応	<ul style="list-style-type: none"> <li>自社の事業戦略を検討するためのツールの一つとして、IPランドスケープの活用イメージを理解することができた。</li> <li>出願にも取組、知財対応のプロセスを経験することができた。</li> </ul>	弁理士 知財戦略AD

## 支援チーム紹介

主担当専門家:弁理士 松崎 義邦

活用専門家:中小企業診断士、弁理士、知財戦略AD

知財総合支援窓口担当者:東京都知財総合支援窓口 岩佐 芳博

PO(プログラムオフィサー):玉利 真人